賛助会員

北海道栽培漁業振興公社（〒060-0003 北海道札幌市中央区北3条西7丁目北海道第二水産ビル4階）

阿寒観光汽船株式会社（〒085-0467 北海道釧路市阿寒町阿寒湖温泉1-5）

全国海苔貝類漁業協同組合連合会（〒273-0017 千葉県船橋市西浦3-2-2）

有限会社浜野顕微鏡（〒113-0033 東京都文京区本郷5-25-18）

株式会社ヤクルト本社研究所（〒186-8650 東京都国立市谷保1769）

神協産業株式会社（〒742-1502 山口県熊毛郡田布施町波野962-1）

理研食品株式会社（〒985-8540 宮城県多賀城市宮内2-5-60）

マイクロアルジェコーポレーション株式会社（〒500-8148 岐阜市曙町4-15）

（株）ハクジュ・ライフサイエンス（〒173-0014 東京都板橋区大山東町32-17）

（有）祐千堂葛西（〒038-3662 青森県北津軽郡板柳町大字板柳字土井38-1）

株式会社ナボカルコスメティックス（〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-29-7）

日本製薬株式会社ライフテック部（〒598-8558 大阪府泉佐野市住吉町26）

共和コンクリート工業株式会社（〒060-0808 札幌市北区北8条西3丁目28 札幌エルプラザ11階）

総合科学株式会社（〒540-0024 大阪市中央区南新町1-4-8）

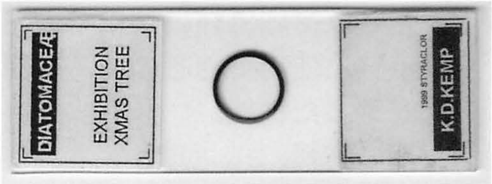
（株）環境総合テクノス（〒541-0052 大阪府大阪市中央区安土町1-3-5）

表紙写真の説明

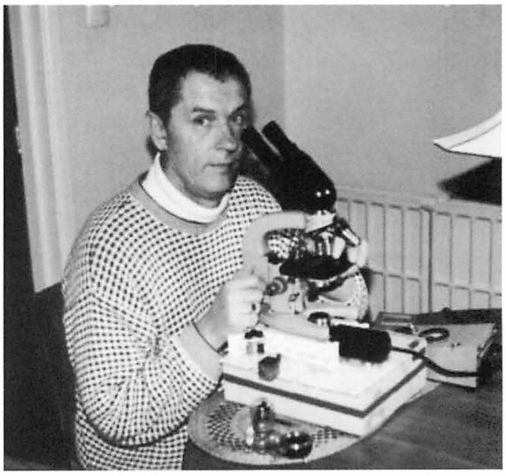
作品名：「クリスマスツリー」

材　料：珪藻の被殻（約100個がスライドグラス上に配置されている。右上の写真）

制作者：Klaus D. Kemp　（右下の写真）
（Microfile Services, Blautannen, Wickham Way East Brent, Somerset, England TA9 4JB）
特殊な極微遠隔操作装置を駆使し，これまで500点に及ぶ美しい珪藻アートを製作した珪藻職人。今回，右の肖像写真の使用許可をお願いしたところ，快諾とともに「市場参入が困難に思えるほどの日本の珪藻研究の優秀さとコレクターの多さに驚いている」とのコメントを頂いた。Kemp氏の素晴らしい作品の数々は下記のウェブサイト "Microlife Services - Diatom Specialist" で鑑賞することができる：
http://www.diatoms.co.uk/



表紙作品のスライドグラス。10年程前に浜野顕微鏡（☎03-3811-4373）から購入したもの。



Front cover photo: "Xmas Tree", a microscopic Christmas tree constructed of ca. 100 diatom frustules. A diatom artist, Mr. Klaus D. Kemp, produced over five hundred of diatom art works with impact using his own special micromanipulator. You can see his beautiful micro-world in his web site: http://www.diatoms.co.uk/.

水域環境の総合コンサルタント

潮間帯生物調査

海浜植物調査

同定・分析

プランクトン調査

ベントス調査

河川生物調査

卵稚仔調査

FUDECO 芙蓉海洋開発株式会社

http://www.fuyokaiyo.co.jp/

本社：〒111-0051　東京都台東区蔵前3-15-7　TEL:03-5820-1181　FAX:03-5820-1225

芝浦技術センター・三重センター・九州センター・北陸センター

北海道営業所・東北営業所・中部営業所・長崎営業所・沖縄営業所・有明事業所

海産微細藻類用培地

<特徴>

◎ 多彩な微細藻類に使用できる。
◎ 手軽に使用できるので、時間と労力の節約。
◎ 安定した性能。
◎ 高い増殖。
◎ 精製水に溶かすだけで、手軽に使用できる。

IMK 培地は，多種多様な微細藻類に使用可能な培地です。人工海水 SP は，海水の成分が自然に近い形で混合されており，精製水に溶かすだけで使用できます。

ダイゴ IMK 培地

100 L 用× 10	398-01333
1000 L 用× 1	392-01331

微細藻類に共通して使える培地です。
生育に必要な成分が含まれています。

ダイゴ人工海水 SP

1 L 用× 10	395-01343

海水 SP の成分が自然に近い形で混合されています。

お客様のご要望に応じた培地も特注でお受け致します。

製造　日本製薬株式会社　ライフテック部
大阪府泉佐野市住吉町２６番
〒 598-8558　TEL 072-469-4622
URL　http://www.nihon-pharm.co.jp/lifetech/

販売　和光純薬工業株式会社
大阪市中央区道修町三丁目１番２号
〒 541-0045　TEL 06-6203-3741
東京都中央区日本橋四丁目５番１３号
〒 103-0023　TEL 03-3270-8571

事業所のご案内

ISEBU Service Station

お客様の多様な印刷・出版ニーズに迅速できめ細かいサービスを提供する営業センター

〒305-0005 茨城県つくば市天久保2-11-20
Tel.029-851-2515　Fax.029-852-8501
ss@isebu.co.jp
営業時間:9:00〜17:30

ISEBU Printing Station

最新鋭のデジタルワークフローでデザイン・編集から印刷、製本までの一貫生産を行う印刷工場

〒305-0812 茨城県つくば市東平塚389
Tel.029-856-4166　Fax.029-856-4147
ps@isebu.co.jp
営業時間:9:00〜17:30

ISEBU Digital Station

「必要なときに必要な部数だけ」印刷するオンデマンド印刷をはじめ、Web制作、CD-R、電子出版など、マルチメディア対応型のアンテナショップ

〒305-0003 茨城県つくば市桜2丁目53-3
Tel.029-850-6200　Fax.029-850-6601
ds@isebu.co.jp
営業時間:10:00〜19:00

ISEBU
株式会社イセブ
www.isebu.co.jp/

Digital

デジタル・コミュニケーション・ワークフロー

多様化する印刷・出版ニーズに 優れた瞬発力でお応えします

私たちイセブは、筑波研究学園都市を中心とする地域で培ったお客様との信頼関係を礎に、お客様一人ひとりに最適な印刷ソリューションのご提案をめざしています。高品位な学術書・論文集等にすぐれた編集ワークとクリエイティブなビジュアル提案が可能なデザインワークを特長とする制作部門に、フルデジタル化によるワークフローを構築。完成したデジタルデータをCTPシステムでダイレクトに刷版出力することで、印刷・製本工程とあわせて迅速な生産体制を確立し、高品質の印刷物をスピーディかつ低価格でご提供しています。

最新鋭の設備が約束する 確かな印刷技術革新

Products

プリプレス＆プレス・ワークフロー

私たちイセブでは、最新鋭の印刷設備をラインナップし、幅広い商品ニーズに高品質・短納期・低コストでお応えしています。二〇〇三年にはハイデルベルグ社製のスピードマスターを導入。最先端のデジタル制御技術と卓越したオペレータによる厳しいチェック体制が、つねにハイグレードな印刷品質をお約束します。また、個人ユーザーによる自分史や詩歌集、学術論文など、モノクロを主体とする小ロットの印刷媒体には、デジタルデータから直接印刷するオンデマンド印刷や紙版CTPでフレキシブルに対応しています。

新　刊

小林弘 珪藻図鑑

H.Kobayasi's Atlas of Japanese Diatoms based on electron microscopy

小林　弘　出井雅彦・真山茂樹　南雲　保・長田敬五　著　B5 判上製・総頁 596 頁・定価 35700 円

本書は，小社発行の「日本淡水藻図鑑」(1972) に所収されるべき珪藻の分類学の成書として長く刊行が待たれていた待望の書である．斯界の第一人者，故小林弘博士の名を冠する．プレートとその解説をはじめとし，特殊な用語が多く使われる珪藻の殻構造の解説を電顕写真や線画を添えて分かりやすく示した．分類体系には最新の研究成果を盛り込む．用語の英語，日本語，ラテン語の一覧表や，学名と和名の対照表などを付し読者の便宜を図った．

【内容主目】凡例／新分類群・新組み合わせ・新用語／収録分類群一覧／珪藻の殻構造と用語／珪藻用語対照表／珪藻分類体系／和文解説／欧文解説と図版／属の学名 - 和名対照表／引用文献／学名索引

淡水珪藻生態図鑑

群集解析に基づく汚濁指数 DAIpo，pH 耐性能

渡辺　仁治　編著　浅井一視・大塚泰介　辻　彰洋・伯耆晶子　著　B5 判上製・総頁 784 頁・定価 34650 円

日本のみならず世界各地から約 1500 のサンプルを採集，膨大なサンプルの生態情報を処理検討し，約 1000 種の珪藻についてその結果を分かり易くまとめる．生態情報の妥当性を期するため，すべてのサンプルを統一条件下で採集し，好清水か好汚濁か＝きれいな水を好むのか，汚れた水を好むのか等を判断する環境指標としての珪藻群集の適性を，多くの図版で具体的に示す．

総論　珪藻研究の歴史／環境指標としての珪藻群集／湖沼，河川共通の水質汚濁指数 DAIpo ／珪藻の生活様式／試料の採集／試料の処理と検鏡／形態（種の同定に関わる特性要素）　写真編　I　中心目（Centrales）の分類　II　羽状目（Pennales）の分類　II A　無縦溝亜目（Araphidineae）の分類　II A　ディアトマ科（Diatomaceae）　II B　有縦溝亜目（Raphidineae）の分類　II B_1　ユーノチア科（Eunotiaceae）　II B_2　アクナンテス科（Achnanthaceae）　II B_3　ナビクラ科（Naviculaceae）　II B4　エピテミア科（Epithemiaceae）　II B_4　ニチア科（Nitzschiaceae）　II B_5　スリレラ科（Surirellaceae）　学名総索引　事項索引

日本淡水藻図鑑

廣瀬　弘幸　山岸　高旺　編集　B5 判上製・総頁 960 頁・定価 39900 円

創案以来 10 余年を費やして完成した労作．
斯学の権威がそれぞれの専門分野を担当し，網羅的にまとめた貴重な図鑑．

〔本書の特徴〕

・全巻にわたり原則として図を左ページに，それらの記載を右ページに配し，図と記載とが一見して対照できるよう工夫配列．

・各綱について，その中の目・科・属の分類学的特徴を図などを用いて，わかりやすく説明し，詳細な検索表を付す．

・各属内の種の検索表には，図や記載のページを示し，また図や記載ページには検索表ページを付して，どちらからでも利用できる．

・種については図とそれぞれの特徴，国内の産地，世界的な分布を記し，特記すべき事項は備考として付す．

・随所に淡水藻の特別な種についての特徴，生殖法，または稀産種の産地，産状，分布，淡水藻の利用法，諸外国の著名な藻学者の小伝などをノートとして挿入．

・明治初期以来の日本淡水藻の分類学的研究を中心とする文献を網羅する．採集と研究法，略史も付した．

・巻末には学名，和名，術語の詳細な索引を付しているが，それらの記載ページ，検索表ページなどはそれぞれ字体を変えて示し，利用の便をはかっている．

表示の価格は税込定価（本体価格＋ 5%）です．

〒 112-0012　東京都文京区大塚 3-34-3
TEL.03-3945-6781　FAX.03-3945-6782　内田老鶴圃

学 会 出 版 物

下記の出版物をご希望の方に頒布いたしますので，学会事務局までお申し込み下さい（価格は送料を含む)。

1.「藻類」バックナンバー

各号，会員価格 1,750 円，非会員価格 3,000 円；30 巻 4 号（創立 30 周年記念増大号，1-30 巻索引付き）のみ会員価格 5,000 円，非会員価格 7,000 円；欠号 1-2 巻全号，4 巻 1，3 号，5 巻 1，2 号，6-9 巻全号。

2.「藻類」索引

1-10 巻，会員価格 1,500 円，非会員価格 2,000 円；11-20 巻，会員価格 2,000 円，非会員価格 3,000 円；1-30 巻（創立 30 周年記念），会員価格 3,000 円，非会員価格 4,000 円。

3. 山田幸男先生追悼号

藻類 25 巻増補，1977，A5 版，xxviii + 418 頁。山田先生の遺影，経歴・業績一覧・追悼及び国内外の藻類学者より寄稿された論文 50 篇（英文 26 篇，和文 24 篇）を掲載。価格 7,000 円。

4. 日米科学セミナー記録

Contributions to the systematics of benthic marine algae of the North Pacific. I. A. Abbott・黒木宗尚共編, 1972, B5 版, xiv + 280 頁，6 図版。昭和 46 年 8 月に札幌で行われた北太平洋産海藻に関する日米科学セミナーの記録で，20 篇の研究報告（英文）を掲載。価格 4,000 円。

5. 北海道周辺のコンブ類と最近の増養殖学的研究

1977，B5 版，65 頁。昭和 49 年 9 月に札幌で行われた日本藻類学会主催「コンブに関する講演会」の記録。4 論文と討論の要旨。価格 1,000 円。

2006 年 11 月 5 日印刷
2006 年 11 月 10 日発行
© 2006 Japanese Society of Phycology
日 本 藻 類 学 会

編集兼発行者 北山太樹
〒 305-0005 つくば市天久保 4-1-1
国立科学博物館植物研究部
Tel 029-853-8975
Fax 029-853-8401
E-mail kitayama@kahaku.go.jp

禁 転 載
不 許 複 製

印 刷 所 株式会社イセブ
〒 305-0005 つくば市天久保 2-11-20
Tel 029-851-2515
Fax 029-852-8501

Printed by Isebu Inc.

発 行 所 日本藻類学会
〒 657-8501 神戸市灘区六甲台町 1-1
神戸大学内海域環境教育研究センター
Tel & Fax 078-803-5781

Vol. 54 No. 3　10 November 2006　ISSN 0038-1578

藻類

The Japanese Journal of Phycology (Sôrui)
第54巻　第3号　2006年11月10日

目　次

日本藻類学会第31回大会のお知らせ

菊地則雄・二羽恭介　東京湾多摩川河口干潟における絶滅危惧種アサクサノリ（紅藻）の生育状況とその形態 ・・・・・ 149

山砥稔文・坂口昌生・岩滝光儀・松岡數充　長崎県薄香湾における有害赤潮ラフィド藻 *Chattonella* 3種の出現状況と増殖特性 ・・・・・ 157

藤田大介・新井章吾・村瀬　昇・東出幸真　舳倉島の露出海岸と遮蔽海岸における海藻の垂直分布と帯状構造 ・・・・・ 165

藻場の景観模式図

寺脇利信・新井章吾：22. 富山県氷見市小境海岸施設の消波ブロック ・・・・・ 173

藻類学最前線

内藤佳奈子：海洋微細藻類に果たす微量鉄の役割 –赤潮発生から地球環境問題まで– ・・・・・ 177

英文誌 (Phycological Research) 54巻1号・2号掲載論文和文要旨 ・・・・・ 181

学会録事 ・・・・・ 187

書評・新刊紹介 ・・・・・ 188

会員異動・入会案内他 ・・・・・ 191

日本藻類学会
THE JAPANESE SOCIETY OF PHYCOLOGY